

令和２年度第１回箕面市廃棄物減量等推進審議会 会議要録

開催日時	令和3年3月22日(月) 10:00 ～ 12:00
開催場所	箕面市役所 本館2階 特別会議室
出席委員数	9 名
欠席委員数	3 名
傍聴者数	1 名

【報告第１号】 箕面市災害廃棄物処理計画について

【報告第２号】 箕面市一般廃棄物処理計画における目標値の見直しについて

【案件第１号】 令和３年度箕面市一般廃棄物処理実施計画について

【その他】

	【報告第1号】 箕面市災害廃棄物処理計画について
事務局	箕面市災害廃棄物処理計画の概要に沿って説明
会長	ただいま説明のありました件について、質問はありますか。
副会長	概要版自体には特に意見はありませんが、取り扱いについて確認します。 概要版を見ると、万一車両がない場合などの広域連携はどうなっているのかが記載されていませんが、箕面市災害廃棄物処理計画では近隣市との広域連携があると記載されています。概要版が本審議会にのみに使われるなら良いですが、それ以外で使用するのであれば、協力体制について、例えば裏面に記載しておくべきだと思いますがいかがですか。
事務局	箕面市は、7市3町2事務組合による緊急時における災害協定を締結しています。それについて、この概要版に記載されていないとの意見でありますので改善していきます。なお、近隣市等との災害協定は引き続きしっかりと締結いたしますのでご心配ありません。
副会長	理解しました。
会長	他に質問はありますか。 なければ、続いて報告第2号の箕面市一般廃棄物処理計画における目標

	値の見直しについて説明をお願いします。 【報告第 2 号】 箕面市一般廃棄物処理計画における目標値の見直しについて
事務局	箕面市一般廃棄物処理計画における目標値の見直しについて、資料に沿って説明
会長	ただ今の説明について何かご質問、ご意見はありますか。
委員	集団回収を行っている事業者として一言。新聞の発行部数を調査し、この計画のとおり減っていくことには同意です。去年は、新型コロナウイルスの影響で古布が回収できずに皆様には大変ご迷惑をおかけし、また、市民の皆様にも多大な協力をいただきましたことを、この場をお借りしお礼申し上げます。 現在は、順調に流通していますが、去年の異例な変動が今後も生じる可能性があるのでは加味いただければと思います。
事務局	集団回収の目標値を設定するにあたって、新聞の発行部数の変化を取り入れましたが、将来的に減っていくのかは未確定であると思っています。今回の目標設定について、将来的に上振れするのか、下振れするのかは不透明ですが、そのときの実績をもって目標値を再検討しやすく、ある程度柔軟性を持たせているのが今回の目標設定の考え方のポイントでもあります。 現計画は、中間年度(10年計画の5年目)に見直すべきところがあれば見直すものとされています。現状の新型コロナウイルスがどのように収束するのか、我々も見えないところがあるのも確かです。そこを見極めながら将来的に目標値をどうするのか、改めて議論する上での土台として柔軟な設定をさせていただきましたので、今後、議論を重ねていければと考えています。
委員	プラスチックごみの処理問題や収集の状況が変わってきているということで、先ほど新聞発行量の減少、ペーパー使用量の減少を考慮したとのことですが、プラスチック類の使用量も最近では減少しているのではないですか。 最近の若者は、インターネットショッピングでの購入が多くなっているのではないのでしょうか。そこで、ダンボールケースのようなものがたくさん家庭に入っていると考えられますが、これは目標値に対してどう影響を与えているのでしょうか。
事務局	集団回収の目標設定の中で包装部分、特にダンボールの量についても注

	目しました。統計によるとダンボールの集団回収量は、箕面市の場合は平成13年から平成16年頃に大きく上昇しています。これはインターネットショッピングの一般化によるものであると認識しています。その後、ダンボールの量はここ10年程度、ほぼ一定量となっているのが現状です。これについては一概にはいえないとは思いますが、インターネットショッピングの利用が多様となるに連れ、包装が簡易的になってきている影響であるものと考えます。ダンボールの量はあまり変化していないことから、今回の目標設定については考慮していないのが現状です。 ただ、昨今新型コロナウイルスの影響でインターネットショッピングや宅配サービスが急激に増加しているものと考えていますので、今後の数値がどう変化していくのかは注視する必要があると考えています。
会長	先ほど質問にあったプラスチックごみについてはどうですか。
事務局	プラスチックごみについては、今回の集団回収量に直接関係はしていません。本市のプラスチックごみについては、ペットボトルの全戸回収及び拠点回収を行っているのが現状です。その他の一般的なプラスチックについては燃えるごみでの処理を基本にしています。 新型コロナウイルスの影響で家庭ごみ量が増えている現状もあります。これが一時的なものなのか、もしくはライフスタイルの変化によるものなのかは検証する必要がありますが、本市としては、プラスチックごみは環境クリーンセンターで焼却しているのが現状です。環境クリーンセンターに運ばれてくる廃棄物は、焼却時に発電を行っており、かつ、環境クリーンセンターの発電機は、この度の大規模工事に伴って発電効率が上昇しています。燃やしたごみから得られるエネルギーについては、できる限り活用する取り組みを行っています。 プラスチックを取り巻く環境は、世界的な意味でも変化しています。大阪府でも海洋プラスチック問題について、今後どのように処理を行っていくのか議論されています。本市は、海に面していないので海洋プラスチック問題とは無関係、とはなりません。海洋プラスチックは川から海に漂流するものが多く、本市でもプラスチックごみが川に不法投棄されないような啓発が必要と考えます。よって、プラスチックごみについても適切な廃棄方法の指導あるいは、ペットボトルを含め、再資源化等を啓発していく方法の検討が必要であると考えています。
副会長	集団回収について、新聞や古紙は今後、増加する見込みがありませんが、京都市では、その他の紙ごみを集団回収で収集しています。つまり、品目を増やす方向性もあると思います。クッキーの箱やティッシュ箱等の紙製のもの

	を抜くと、ごみとしての回収量が減るので、その方向性は考えていますか。
事務局	ご質問いただいた「雑紙」の回収については、一部市町村で行われているのですが、分類が非常に難しく、回収業者と詳細な打合せが必要です。かつ、排出側である市民に対しても同様なので、なかなか踏み込めていないのが現況です。
委員	地域的な意見ではありますが、集団回収場所について、自治会や子ども会との調整も必要かと思いますが、拠点場所までの距離がある場合もあるため、もう少し回収拠点箇所や回収回数を増やしてほしいと思います。いかがですか。
事務局	自治会や子ども会の協力を得ながら実施している地域活動でありますので、自治会長と集団回収業者との調整が必要と考えます。 今年新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、毎年自治会説明会に参加して集団回収の斡旋を行っています。その際、意見があれば自治会長の意見として伺いたいです。何か困りごとがあれば、できる範囲でサポートしていきたいと考えます。
	【案件第 1 号】 令和 3 年度一般廃棄物処理実施計画について
事務局	令和 3 年度一般廃棄物処理実施計画について資料に沿って説明
会長	ただ今の説明について何か質疑、意見はありますでしょうか。
委員	箕面市は、市民の協力もあり廃棄物に関してもうまく連携がとれていると思います。その中でもごみの処理に関しては、カレンダーにも収集の仕方や出し方を載せてあり非常に助かっています。 これはお願いですが、箕面市の指定ごみ袋が数種類あると思いますが、カレンダーの中に、どのぐらいの大きさなのかを追記いただきたい。それと、大型ごみ処理券についても、もう少し詳細に載せていただきたい。さらに、家電リサイクル品については、カレンダーに載せている品目だけなのか。大型ごみは、可燃ごみとは違って毎回排出されるものではないため、それを踏まえてもう少し具体的に載せていただきたい。 また、災害時については大阪府にも即時協力してもらえるようお願いしたい。排出量についても災害時は制限なく排出できるように対策を考えてほしい。

事務局	ごみカレンダーについては、いただいたご意見をもとに市民の方がわかりやすい提供方法を検討していきます。災害についても、庁内、庁外問わず隣接する市町村や大阪府としっかり連携していきたいと考えています。
委員	分別して収集するものとした一般廃棄物の種類及び分別の区分の中の各種リサイクル法の遵守と徹底について、ペットボトルのキャップは燃えるごみとなっていますが、キャップだけ小袋に入れたらリサイクルになるのではないのでしょうか。 また、一般廃棄物の処理施設の整備に関する事項について、止々呂美残灰処理場の維持管理(長期包括運営委託)となっていますが、これは、どういう契約で行っているのでしょうか。長期的に運営委託しており、その委託が今後も続いていくのでしょうか。先ほどの説明では、「普段は維持管理をしておらず、災害があったときのみ維持管理を行っている」と認識しましたが、そのためだけに予算措置をしていることなのでしょうか。
事務局	本市のペットボトルの分別収集ですが、「ペットワン」のマークがあるものを対象に収集しています。ご質問にあったペットボトルの蓋に関し、プラスチックに分類されるものを別途収集しては、ということだと思いますが、現在、そのような収集は行っていません。平成 25 年度まで一部地域(6,500 世帯)を対象にプラスチックのモデル収集を実施した経過がありますが、その際、回収後のプラスチックが結果的に製造所の燃料として利用されたこと、また、収集運搬に関するコストや運搬に係る CO2 の発生などの環境面も考慮し、平成 26 年 3 月末をもって終了しました。現在はプラスチックのみの収集は行っていないのが現状であります。 最終処分場の管理については、止々呂美残灰処理場のみを包括管理する委託契約ではありません。これは、環境クリーンセンターの焼却炉や設備全般を維持管理する契約であって、その中に止々呂美残灰処理場の管理も含まれています。具体的には、法律で定められている月に 1 回の水質測定や年に 1 回の埋め立て容量の測定、いつでも廃棄物が搬入できる状態を維持するための敷地内の除草や剪定作業を行っています。もちろん、災害等で最終処分場を活用する場合の近隣自治会等の説明や協議については市が担います。
委員	維持管理の契約については主に環境クリーンセンターということですか。
事務局	環境クリーンセンターを含む廃棄物処理施設全般の維持管理の中に止々呂美残灰処理場が含まれている認識で結構です。

副会長	食品ロスについて、府下市町村での取り組みについては、非常に興味を持っています。京都市では、食品ロスの取り組みが盛んで、最近では京都大学が中心になって、子ども食堂やフードバンクを繋げたネットワークでの取り組みが始められ、この５月には「食べられない子どもたちに対してのイベント」が予定されています。 しかし、大学でも新型コロナウイルスの影響で家計状況が非常に厳しい状況であるという実感も踏まえ、食に関してロスになるものが、満足に回っていく仕組みがうまくできればと常々考えてきました。 市町村における食品ロスについて、なにか協力できるようなことがあれば、京都市での取り組みの資料や情報提供などの協力をさせていただくつもりです。
事務局	京都市はとても先進的な取り組みをされていることを実感しました。大阪府の食品ロス削減推進計画については未だ公表されていないために手探りな状況です。大阪府下市町村の情報はもとより、今後は京都市のような先進事例も参考になりますので、よろしくお願いします。
委員	箕面の山パトロール隊の代表として隊の活動に関係することですが、不法投棄について監視カメラの設置を令和３年度も同様の取り組みで記載されています。この監視カメラについてお聞きしたい。具体的にどの場所に設置されているのでしょうか、また設置に対する効果はどれくらいあるのでしょうか。また、新たな監視カメラの設置計画はあるのでしょうか。防止活動にパトロールをしているようですが、具体的にどのような内容なのか伺います。
事務局	監視カメラの設置ですが、止々呂美地区と山間部に３カ所、市内１カ所の計４カ所にカメラを設置している状況です。週に１回データの確認を行っていますが、現状、不法投棄の現場は写っていません。パトロールについては、月に４、５回行っています。ほとんどが山間部を中心に行っており、不法投棄が多いであろう場所や苦情が寄せられる場所を重点的にパトロールしています。
委員	大阪府でも緊急事態宣言が解除され、パトロール隊の活動も再開していますが、数ヶ月間監視活動が止まっていたこともあり、箕面の山を中心に活動を再開したときは、やはりあちらこちらに投棄が散見されているのが現状です。報告が上がっているのが、檜の木橋の下周辺に大量の家庭ごみが捨てられている事案で、車で行ける場所等の道路沿いが多いです。今後も不法投棄を防止する啓発活動が必要でないかと思います。

会長	不法投棄の罰則はどうなっていますか。
委員	不法投棄の罰金は非常に高額であります。その投棄物に対し証拠となるものを箕面警察署に届けたりすることがありますが、ごみの中身に証明となる物があっても、投棄した本人と断定できない場合が多く、注意で終わるケースがほとんどです。
事務局	不法投棄の罰則については、たしか 1 千万円以下の罰金であったと認識しています。中々痕跡がつかめないのが現実で、警察とも協議をしながら対処してきた経過もありますが、今後もパトロール隊とタイアップして不法投棄撲滅に協力していきます。
委員	災害廃棄物ですが、今回、許可業者で組合を結成しました。北部地震や台風 21 号についても市内の道路上等の廃棄物を全て片付けてきました。 今後も行政の要請があれば、365 日いつでも市民のライフラインを守るために頑張っていく所存です。
会長	ありがとうございます。天災が頻繁に起こる昨今ですが、今後ともよろしくお願いします。最後に【その他】の案件がありますが、ご意見はありますか。
事務局	【その他】については事務局からは特にありませんが、皆様なにかありますか。
会長	特にないようですね。今回は初めての Zoom による開催でしたが、たくさんのご意見をいただきありがとうございました。次回の開催予定について事務局からお願いします。
事務局	次回審議会開催予定について説明します。次回は委員改選が 7 月に予定されていますので、現委員での開催は今回が最後となります。2 年間どうもありがとうございました。次回開催に向け準備を進めていきますが、取り急ぎ必要な案件がありましたら、各委員宛てご案内いたしますので、どうぞよろしくお願いします。
会長	以上で審議会を閉会いたします。ありがとうございました。